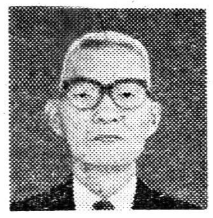
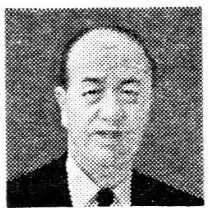
福生新聞

発行所
福生町志茂189
福生新聞社
電話0425～51～0422
発行人　川上作司

旧元狭山村未解決の問題
八年ぶりに遂に終止符

瑞穂 武蔵 両町の


石塚瑞穂町長


三好入間市長

昭和三十三十月十五日、瑞穂町と埼玉県元狭山村の越境分村合併問題で武蔵町に分村合併させられる元狭山村の二区、三区、四区住民は瑞穂町への全村合併を主張、武蔵町への合併を拒否し、その後八ヵ年小中学校児童生徒は武蔵町立小中学校から瑞穂町営小中学校に転入通学、納税、選挙権など埼玉県側の行政通達は一斉を拒否続け、この問題は未解決のままとなっていたが、原島町長の後を受け瑞穂町長となった石塚町長は就任以来、こうした問題を未解決にしておく…ということは瑞穂町、武蔵町としても町行政を担当するものとして、決して好ましい状態でないので、何んとかこの未解決の問題を武蔵町側と話し合って解決したい…と意欲的な接渉を図った結果、遂に去る八月三十一日武蔵町と瑞穂町との間に次の覚書をとりかわしたのである。

覚　書

旧元狭山村未解決処理問題について左記事項を基準として大綱をまとめ処理方法を考える事に意見調整をなし、昭和四十二年度中に解決する如く努力する。

勿論両町未解決事項等処理委員会及び両町議会において最終的に決定する。

記

一　財産の処分について
旧村有雑地　四五六二㎡
旧組合立狭山中学校用地　三七、二四四平方米
地域住民の現在に至りたる経緯等を十分に配慮し且つ両町の納得のいく線で決定する。

二　瑞穂町に転出入学の小中学校児童生徒の処置
（小学校児童数一〇五人、中学校生徒数四五人）
1　過去における転出入学者の経常教育費を分担金として納入するよう配慮する。
2　現在の瑞穂小中学校入校者は現状のままで行くか否かについては十分に住民の意志を尊重して善処する。
3　今後の一年生の入学についての処置は十分に住民の意志を尊重して善処する。

昭和四十一年八月三十一日
埼玉県入間郡武蔵町長　三吉道雄
東京都西多摩郡瑞穂町長　石塚幸右衛門

その後この覚書によって財産処分の話しを続けつゝあったが去る十月十七日瑞穂町、武蔵町両町は同時に町議会を開き旧元狭山村及び武蔵町の境界変更に伴う財産処分等についての議案を提出し、瑞穂町議会は旧元狭山村選出の神山、岩田、村野議員三名が退場中川議員が次の通り賛成意見を述べた。

中川議員～私は本案（議案第五一号）についての反対の意見がないようであるからあえて賛成の討論を行います。

本件は御承知の通り、昭和三十三年十月に町村合併法に依る。しかし総理大臣の裁定という異例の措置によって実現した旧元狭山村の分割合併が爾来八ヶ年の永き歳月に亘って数々の問題や悲劇に色どられた住民の血と涙の歴史に最後の終止符を打つべき旧元狭山村の財産処分に関する案件でございます。

長い長い旧元狭山村と瑞穂町が一体となって闘ってきた合併運動の結末の突知としてもたらされたものは両町村民が夢想だにしなかった所の「総理大臣裁定」の通告でありました。

当時の元狭山村議会は涙を呑んで不当な国の合併処理案の議決を致しましたものの、住民の悲願は却って燎原の火の如く燃えひろがり爾来十年に近い歳月を「財産を失っても、命を縮めても……この悲願を達成せずには置かない」という強い決意のもとに闘って参ったのであります。

当町においても当時の原島町長以下議会全員は一丸となってあらゆる努力をして参いったのでありますが、遂にその実現を見る事が出来ず、ここに本議案が提案される運びと相成ったわけでありまして この運動に渾身の努力をかたむけて参った、私としてはいま、静かに過去をかえり見、また共に闘い続けてきた同志諸君の心中を想う時唯々感慨無量のものがございます、恐らくここに並居る諸君も本案を議決するに当ってその感懐は同一であろうかと思います。

しかしこれは時の流れと共にあらゆる努力も空なしく、遂にこうした議決をせざるを得ない結果と相成った事も誠に止むを得ないと存じますと同時に、本案を満場一致を以って議決する事が瑞穂町議会として最も正しく且つ賢明な判断であると信じます。

今ここに立って二区、三区、四区の方々の心中を想い、旧元狭山の同志諸君の心情をおもう時断腸の思いが致します。

願わくば二区、三区、四区の皆様には現状を正しく認識せられ、自らの将来を想い、両町の深い理解と信頼の上に立って住民の真の幸福をもたらすための充分の配慮をこめた処理案である事に御理解を賜りたいと思います。私は皆様が武蔵野の良き町民となられて末永く御繁栄なされるよう心の底から祈って止みません。万感胸にせまって充分に意をつくす事が出来ませんがここに武蔵、瑞穂、両町及び両町の住民の弥栄を祈りつつ本案に賛成する者であります。

以上中川議員の賛成意見が終り旧元狭山村選出の三議員退場のまま全員賛成によって本案が可決されたのであるが、旧元狭山村から傍聴につめかけていた数十人の婦人傍聴者が採決の一瞬、泣きすすりの一駒もあり、全町合併を叫び続けた二区、三区、四区の住民としては、さぞかし断腸の思いではあったろう。

しかし、自治行政を担当する長としてこうした問題を未解決のまま いつまでも放置することも出来ず殊に武蔵町は十一月一日入間市として市制施行する予定で、その準備を進めている際、永年紛糾を続けていたこの問題が両町円満の裡に解決され、すっきりした市制施行が出来たことはよろこばしいことであった。（写真は上石塚瑞穂町長、下三吉武蔵町長、現入間市長）

来年四月の五日市町長戦に
岸義一氏出馬表明

来年四月には五日市町の町長選が施行されるが、このほど五日市町寿美屋の故岸忠左衛門氏の長男岸義一氏が小宮、戸倉、五日市、増戸等の友人有志の推薦で出馬を表明したので一大センセイションを巻起している。

岸　義一氏(62)　現在法務省関東地方更生保護委員会委員として余刑者の更生保護に専念しているが、府会議員、五日市町長となり南部開発に貢献した岸忠左衛門氏の血をうけているだけあって、経歴やその政治的手腕も立派なものである……というので五日市町の友人が来年の町長戦に是非出馬させよう……と熱心に出馬を求めていたもので、やっと腰をあげ、出馬を決意となったものである。

ヵ所を転任、当時満州国の政治団体である協和会の事務局長として活躍中終戦となり抑留され、昭和二十四年暮帰国、法務省法務局の刑余者の更生保護をしている、保護監察所長として京都、仙台、札幌、浦和と四ヵ所を転勤、北海道中国地方更生保護委員会委員として刑余者の更正保護に当っている。

かつては満州国の副知事とし又は満州国の政治団体の事務局長として活躍したその手腕のほどは行政面においても、政治力の面においても立派な経験と実績をもっている氏の手腕に期待し氏の友人は次期町長として熱心に推薦していたものである。

（写真は岸義一氏）

福生町農協森田組合長
知事賞受賞祝賀会

福生町農業協同組合長森田幸蔵氏の知事賞受賞祝賀会は去る十月八日、農協三階ホールに東京都信連会長内田秀五郎氏をはじめ西部農協関係者その他数百名の来賓参列のもとに盛大に挙行された。

森田幸蔵氏は昭和二十一年福生町農地委員に選任され、爾来農業委員会長、東京都農業会議員として農業の振興、農政確立のために一貫して尽力し、昭和二十三年に農協発足に際しては専務理事に推され、昭和二十七年に組合長に就任以来、現在まで農協の健全な発展に献身的努力をつづけつつあり、また昭和三十年以来、西多摩地区農協々議会会長、福生町農業共済組合長、西多摩地区農協共済推進委員会長、東京都経済農協連合会理事、東京都農業会館理事、農事調停委員、都市計画審議会委員、区画整理評価委員等農事関係の要職を兼務、まことに寧日氏は東京の開成中学を卒業、仙台の第二高等学校から東北帝大の法文学部を卒業、昭和七年東京都地方課に奉職後満州国建国と同時に満州の副知事として三

これなしの多忙な活躍振りは、七十二才とは思われぬ身心さに、関係者は皆敬服しており、なお昭和二十二年より昭和三十四年まで福生町々会議員として三期、町行政の進展に尽され、福生町長をはじめ東京都町村会長より自治功労者として表彰され、また農業関係では東京都農協中央会長、農林中央金庫理事長、全国信連協会長よりそれぞれ表彰をうけ、去る十月一日都民の佳日に農業団体の発展に寄与された功績により農林関係功労者として、東京都知事より晴れの表彰を受けたものである。

（写真は都知事賞受彰の森田幸蔵氏）

福生 石川彌八郎氏
栄えある藍綬宝章受彰

福生町熊川の「多満自慢」醸造元石川酒造株式会社々長石川弥八郎氏(80)は、去る十月十五日宮中において栄えある藍綬宝章の表彰を受け一家の名誉はもとより日本酒造業界の名誉でもあったろう。

石川弥八郎氏は早くより日本酒の醸造に新機軸を開くと共に、販売面にも力を注ぎ全国酒造業界のホープとして活躍し、現在日本酒造連合会長としまたは中小企業近代化審議会大蔵部会清酒分科会長として清酒業の近代合理化を図りつつありその功績は顕著なものがある。

石川氏今回の栄誉をお祝いしよう…と元西部青年団関係者が発起人となり来る二十七日武蔵信用金庫三階で盛大に祝賀会開催を目下準備中である。

瑞穂町都営住宅に
分校建設
荒井組施工

瑞穂町ではかねてより都営住宅の要望として分校建設をしてくれるよう再三に渉り陳情があったのでこの程予算措置が出来たので、敷地一町歩に総工費二、四〇〇万円で鉄筋三階建総建坪九九〇平米、八教室の分校を去る十二日荒井組施工で着工完工は来年三月二十日の予定である。

羽村堰下の木橋
コンクリート橋に

羽村堰下の木橋は台風の流失し、その都度 復旧費が 百万円という大金が かかるというので、町の永年の運動が実って漸く都建設局も腰をあげ、増水しても流れないコンクリートの橋を本年度中に架橋することを局長との間に井上町長が確約した。

なお、都は近い時期に国の公共事業の認定をうけて、その下に永久橋（約五〇〇㍍）架橋の実現を期しているようで、このための既に地質調査も終った。

羽村中屋内
体育館完工

羽村町では建設費一千四百三十万円で町立羽村中学校屋内体育館の建設を東京の巴組鉄工所によって施工中だったが完成既に使用している。

同体育館はプレハブ式ダイヤモンドジムの型式で七一七平米（二一六坪）明るい近代的立派な体育館である。

勲六等瑞宝章受彰
福生町消防副団長
設楽五一氏

福生町消防団副団長の設楽五一氏58は昭和十年以来三十年間福生町消防団入団以来消防業務に専念、特に自営の自動修理工場を経営している関係上、緊急車である消防車の修理更新を自己負担でやり、なおかつ隣接町村の消防車おも優先修理し理在まで十数回にも及びまた消防車の安全運転技術の指導等をした……というので都下で唯一人栄えある勲六等瑞宝章を来る十五日宮中において受賞することになったものである。

羽村町役場
一千万円で増築

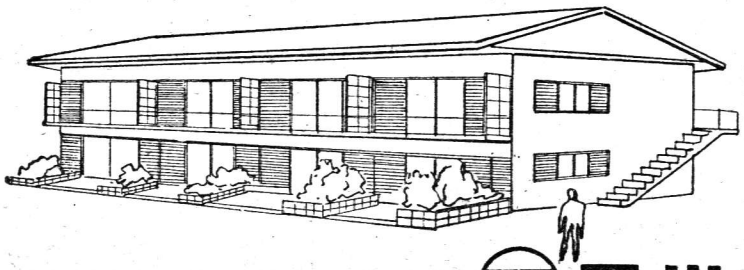
羽村町では役場庁舎の狭溢を来たしていたゝめ予算壱千万円を投じ木造二階建（一三〇坪）を田村建設施工で工事を急いでいたが去る十月二十日完成した、増築庁舎の一階は都市計画課、教育委員会、企画室、資料室、二階が会議室となった。

おしゃれの……
紳士靴と
淑女靴は……
福生駅前
近藤靴店
電話(〇四二五)五一～〇四四六

記念品に最適
鏡と額縁
おくりもの
福生駅前電話三～〇四六
三井の漆器

日曜診療（土曜休診）
保険医　長谷川一雄
長谷川歯科
瑞穂町箱根ヶ崎（八高線踏切際）
電話　五七～〇〇七九

利殖のホープ！
アパート・寄宿舎には経済的な
特種工法　ニコン建築



木造と同じ単価の5万5千円でブロック建築ができます。木造は5年半ニコン建築は3年半で原価償却できます。鉄筋コンクリートとブロックの組合せで堅牢そのものです。防音施工をしますので1戸建の住み心地です。結露，雨もれ絶無　西川ブロック　が20年の研鑽です。畳替えとペンキの塗り替えで永久に新しい住居になります。入居者は安心して住め家主は採算がよく共によろこびます

●御一報次第ご納得のいくご相談に参上致します。
西川建設株式会社
昭島市中神町941
TEL (0425) ④ 0032 代 0344

くすりは
清水の十字堂
電話2237

青梅市民会館落成

青梅市では市制施行十五周年の記念事業として、総一億二億四千八百万円をもって昨年九月着工この ほど落成、去る十一月一日開催者 住記念式典と併せて落成式を盛大に挙行した。

同会館は地下一階地上四階、鉄筋コンクリート造りで、大ホールの舞台照明、音響設備は最大なものである。

同市民会館は公民館を兼ね教育、文化施設や勤労青年学校なども開講するなど、社会教育の活動動を するーという構想をもっている。

青梅市史出来　青梅市はことしの市制十五周年記念事業の一つとして「定本市史青梅」を編さんしたが、このほど完成、市内の学校、図書館などに配布した。A判、三二百八、都内一を誇る豪華な市史。

内容は自然環境、先史古代から現代までの産業交通、宗教、文化教育体育、民俗、動植物にいたる十四項目に分類されている。

同市史編集委員はデータをもとに記述歴史を豊富なデータをもとに記述

同市史編市民の故川合清蔵、青川第治氏のほか里井山らの人物解説もしている。

編集に郷土史家の福葉松三郎、浅井徳三、並木昭雄氏ら二十五人の市史編さん委員委員会（山下弥十郎委員長）があった。希望者には十一月一日から実費三千円で売る。

映画「青梅」も　青梅市制十五周年を記念して制作し、人映画「青梅」は十一月一日の同記念式典、それにつづく各種記念行事の席上、市民に公開される。東京都映画協会の田家宗逸氏が構成、語り手は文NHKの竹内三郎アナウンサー、製作費百八十万円。

ナレーション、イーストマンカラーの総天然色。上映時間一時間。

内容は故吉川英治氏の題字とその下に故川合清蔵のテープ釣りの絵、そして江戸、大阪の城の修築資材とした成木の石灰岩の燥跡などの映像から始まり、そのため開かれた青梅街道の開通、同市の歴史各クラブのようにしまた、やきものの出来るまでの工程、などの写真で、それに合った土から作品まで陳列し、皆さんにやきものをよく理解していただけるような会にしたい。とやから準備を始めるそうである。

完成した青梅市民会館

武蔵信用金庫研修所建設中

加藤理事長は都知事章受彰

福生町本店を置き、三多摩のほか全域を事業地区としている武蔵信用金庫が去る八月末に預金量自慢内の大会突破し着々と流現状から内容的にもそれに相ふる体制を確立し、顧客サービスの向上等を期して職員をレベルアップすることを意図に施設するとの多摩川流域に建ちの研修所は昨年八月に工事名の沿設備を備えた延面積三百五十平方メートルの研修所を建設中である。

これら同金庫が去る八月末に預金量自慢内の大会突破し着々と流

これら同金庫が去る八月末に預金量自慢内の大会突破し着々と流

十八年を経たにすぎず、その躍進振りは業界でも比肩するものがなく、今地元経済の発展には不可欠の存在となっている。

さらにこの金庫の理事長加藤吉蔵氏は本年中小企業金融に尽力した功績を称えられ去る十月一日の都民の日には表彰から唯一人、中小企業発達の功労者として都知事賞を受賞されている。

福生町

福生町議会議員選挙は、四月の議員任期満了を控えて、既に他町村では目覚ましい動きをみせている。

古清水氏は瀧河原の一地代金の会くじに投票の公金一般会計、水道特別会計二千万円や、銀行の新利子百十五万四千円を二、三日ということで収入後に立替えをせ又三千万円を公金として金機機関から借りて個人で費っている。

且人工芝造物所でその公判が続行されつつあるが、その内容は、判決をまつとして、ここでは二十四人の議員中多数の議員が町長の独走を支持し、町に大きな損失をもたらしたり、町民をマーケティング（意識）協力として、議員の案件に町民は理解を示しながら良ごみきわめ、徒らに理事者にとって、町勇の伸展に努力している人物、あるいは努力出来るこの人物、あるいは努力出来るこの多数選び出して欲しいのである。

瀬古前町長の言を信ずれば、俺は独走しない、俺は一人で戦っているも議員の同意を得ようとしている。

福生町議会議員選挙は、四月の議員任期満了を控えて、既に他町村では目覚ましい動きをみせている。

傷他議員当選発出動をみせている。

が、当選は難低調だ。

ところで前町長選挙は、ことしの市制十五周年記念事業として、「前瀬古町長の独断専走」無批判もこの行動に大多数の議員が同調した結果、年間四千万円以上にものぼる莫大な利益を町にもめぐってきの新緑と、一億数千万円の莫字にも成長を西百五万円の黒字にした粉飾予算をこれまで大多数の議員によって通過させ、町民の目をあ他に独走はする得ない……と矢見ているその責任は大きく前瀬古町長に対する反論をおそれ切られても一言の反論を出来ない状態になっているのだからなんとかの問題の、し尿処理建の建設の瀬古前町長はこんな独走ぶりだったかをこに論議しておく。

当面し尿処理場の建設は五百日の出、秋多、福生、羽村、瑞穂の六ヶ町村共同で秋多町の小川を建設場所として話を進めつつ、建設当ってます問題になったのが、その処理方法であった。即ち化学処理とするか、加熱処理とするかの二点について問題になったが、独走による瀬古前町長は、福生町役場の、見学から帰った瀬古前町長は、福生町役場にした方がいいだろう……というんで建設の勧告があった。

勧告があった方が瀬古前町長は厚生省の勧告をいろんなのその、加熱処理をしている旭川市の処理場を見学しようっ、飛行機の複数旅費は会社が持つから……とったが五、六町側は旅費を会社に出させて、後に問題を残すことを憂い自付持ちとして二応見学することになった。

ところがこの旭川市の処理場見学中に建設予定になっている地元、小川部落に処理場建設反対 のの、のろしがあがり、見学から帰った瀬古前町長を、福生町役場にした方がいいだろう……というんで建設の勧告があった。

勧告があった方が瀬古前町長は厚生省の勧告をいろんなのその、加熱処理をしている旭川市の処理場を見学しようっ、飛行機の複数旅費は会社が持つから……とったが五、六町側は旅費を会社に出させて、後に問題を残すことを憂い自付持ちとして二応見学することになった。

ところがこの旭川市の処理場見学中に建設予定になっている地元、小川部落に処理場建設反対 のの、のろしがあがり、見学から帰った瀬古前町長を、福生町役場

来年四月町議戦

下馬評（一）

福生町は、維持費がなくつ——だから、独善独行などあり得ない……と矢見得を切っている。

四月に実施の議員選挙は、既に他町村では目覚ましい動きをみせている。

傷他議員当選発出動をみせている。

が、当選は難低調だ。

ところで前町長選挙は、ことしの市制十五周年記念事業として、「前瀬古町長の独断専走」無批判もこの行動に大多数の議員が同調した結果、年間四千万円以上にものぼる莫大な利益を町にもめぐってきの新緑と、一億数千万円の莫字にも成長を西百五万円の黒字にした粉飾予算をこれまで大多数の議員によって通過させ、町民の目をあ他に独走はする得ない……と矢見得を切られても一言の反論を出来ない状態になっているのだからなんとかの問題の、し尿処理建の建設の瀬古前町長は、福生町役場の、見学から帰った瀬古前町長を、福生町役場

穂の五ヶ町村は、維持費がなくつ——だから、独善独行などあり得ない……と矢見得を切っている。

四月に実施の議員選挙は、既に他町村では目覚ましい動きをみせている。

傷他議員当選発出動をみせている。

が、当選は難低調だ。

ところで前町長選挙は、ことしの市制十五周年記念事業として、「前瀬古町長の独断専走」無批判もこの行動に大多数の議員が同調した結果、年間四千万円以上にものぼる莫大な利益を町にもめぐってきの新緑と、一億数千万円の莫字にも成長を西百五万円の黒字にした粉飾予算をこれまで大多数の議員によって通過させ、町民の目をあ他に独走はする得ない……と矢見得を切られても一言の反論を出来ない状態になっているのだからなんとかの問題の、し尿処理建の建設の瀬古前町長は、福生町役場

穂の五ヶ町村は、維持費がなくつ——だから、独善独行などあり得ない……と矢見得を切っている。

ところで、現議員中出馬を断念した議員は浅茂、笹本益夫、斎藤博氏と最近入沿議員も断念した議員は浅茂、笹本益夫、斎藤博氏と最近入沿議員も断念した。

ところで、現議員中出馬を

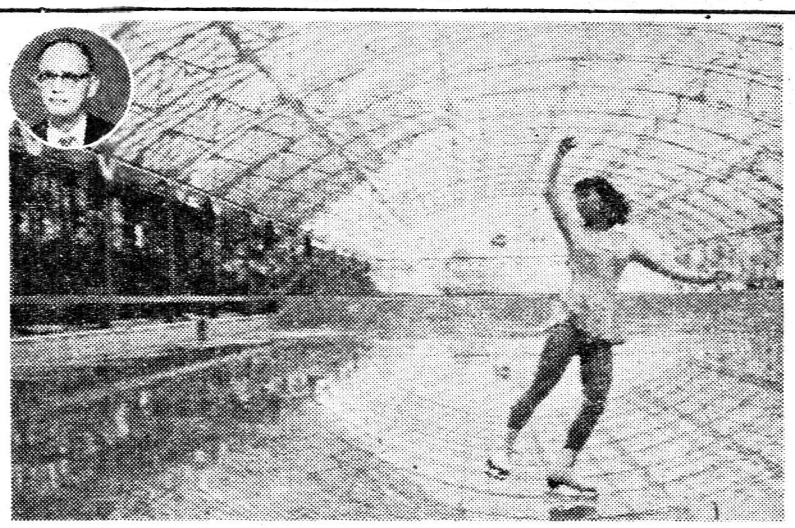
一億八千万円を投入

御岳にスケートリング

青梅市議会議員北村正治氏は一億八千万円を投入して、旧市営スケートセンター跡に長さ一〇〇㍍横二六㍍の平面リンクで一度に一万人はOKという文字通り都内随一のウインター・スポーツ・センターを建設、去る十月二十九日約千人の関係者を招待して盛大な開場式と初すべりを行った。

このみたけスポーツセンターは御岳山ろくの自然の風景に冷凍設備の能力をフルに生かしその氷質は日本一だ…という。

なおこのスケートリンクはその手始めで逐次あらゆるレジャー施設を集結して大自然の風景とマッチさせ御岳の一大観光歓楽地を建設することになっている。



営業期間は三月三十一日まで毎日午前十時～二十二時。滑走料金は大人一日三五〇円、半日一〇〇円。小人一五〇円、半日百円、前売券三〇〇円。貸靴料大人一日三〇〇円、半日二〇〇円。入場料五〇円。

瑞穂町　交通安全町民総決起大会

瑞穂町今年の交通事故は福生警察署管内（福生、羽村、秋多、瑞穂町）で死亡十七名の内九名が瑞穂町での交通事故による死亡者を出しているので町議会でも問題になり、遂に去る十月二十八日午後一時から交通安全町民総決起大会を催し終って全町民一人一人が交通ルールをしっかりと身につけ正しく実践するよう……とブレーキは早めに、スピードは控え目に！、飲んだら乗るな！、乗るなら飲むな！、もう一度よく見て渡れ手をあげて……等のプラカードを持ってパレード町民にPRした。

元町会議員の会　福生会結成

昭和二十二年より三十八年までの元議員は十三会、五月会、弥生会とそれぞれの親睦会を組織していたが、今回これを一本に結集し、去る十月三十日幸楽園に四百数十名出席し福生会と命名して発足した。この会は親睦を目的とするが併せて町発展に寄与したいが、町政への圧力団体にはならないというもの。役員を次の通り選定し懇親会に入り、和気あいあい裡に旧交を暖めて散会した。

役員

会長　田村幾太郎

副会長　野島毎、田村利一、高橋三郎

会計　西村節、森田喜一

監事　児島信一、米泉薫、貫井伊作

理事　川窪金吉、天野由蔵、田村福一、田村政一、設楽美知、高橋彦市、渡井明、磯村武夫、渡辺継二郎、

会員　野村信晴、田村富十郎、森田広助、細谷喜蔵、横田寿照、児島信一、高橋角蔵、田村信、平井初五郎、加藤市蔵、井上岩次郎、川窪金吉、天野由蔵、杉森真、村野喜平、田村福一、田村政一、田村幾太郎、船木甚平、鮎沢美代子、橋本雄一、野島毎、石川武雄、西村節、貫井伊作、村野盛一、井上頼太郎、飯野富十郎、設楽美知、森田幸蔵、田村利一、村尾四郎、並木秀、高橋三郎、村尾種吉、中森与一、石川常太郎、森田喜一、瀬古清蔵、高橋彦市、斎藤真一、渡井明、磯村武夫、清水与一、西村光人、米泉薫、山下久吉、田村祐一、高水黎八、渡辺継二郎、平井賢二、吉田清、山下幸三、上石捨吉、神野藤操

福生町教育委員会主事　森田潤三氏

福生町教育委員会主事森田潤三氏はこのほど「心の味と匂」（私の人生雑抄）を発刊した。

氏は若い農業教員時代に専門的知識技能の貧困と当時における農業教育学の物足りなさに多くの懐疑を持ちしかも力なきに農場主任教頭などの重要ポストを与えられ、人知れず苦心をした、そこでいきおい専門の読書はもちろん専門学校、蔬菜の原産地などに歩を運んだ、たまたま毛色の変わった県の視学官、東京高師出の中山武三先生のもとでアメリカの教育および理論の導入を託されて教育学の再勉強の機会を得て、その人格識見、イデオロギーに大いなる感化を受け、更に四十歳まで安岡正篤氏の農士学校に参講し、私生活にも一つの転機を掴んだのである。

「心の味と匂い」発刊

福生町教育委員会主事　森田　潤三氏

いつぽう精進録と名付けて端座し毛筆でノートに日誌をつけ、語感録を入れた、その日誌は七十二冊におよんでいるという。

これまでの学校という狭い塀内での生活周囲から二目おかれたエリート族的生活と縁を絶ち切り、ようやく一庶民としての世の実相に触れ、長いブランクでの昔のイメージとの違いや、世の中の転移や人間世話の難しさと複雑性を味い、穿てば心の糧とするものが数あることに思いをいたし、それを に折り触れて書いておき、往時書いた随想録とともにかなりたまったので、これを整理して随筆風にし、現代に合いそうなので取りあげて発刊したものだ……で、一読して倫理性の中に論理性を付けてある特異性のもった人生雑抄である。

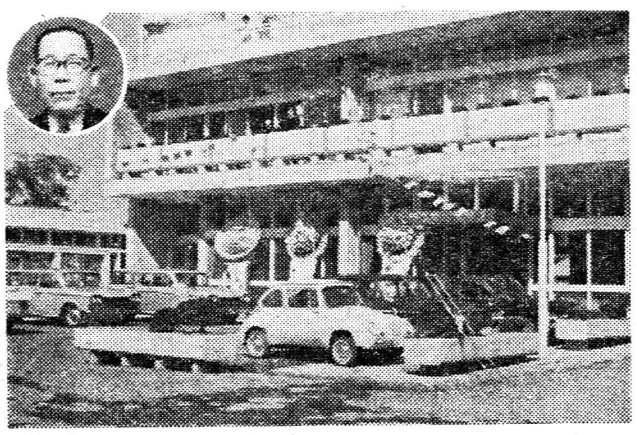
何か教えられるものがあり、味のある随筆だ。発行所は千代田区飯田町高橋ビル内隣人社。定価二五〇円。

著者は青梅農林卒、東大農学部教員養成所卒後、奈良、千葉、山口各県の農業学校、農林農高校長、高等学校長、町教育長歴任。

著書～「仔豚の人工哺乳について」「実習による公民的自治的陶冶」「小形孵卵器による孵化実習について」「農業教育と道徳教育並びに農業教育上における二、三の問題」「西瓜の移植及び連作栽培について」等。

西秋留農協　事務所落成

秋多町西秋留農協では、かねてより総工費二千八百余万円で浅沼組施工で新事務所を建設中であったが、このほど完工したので、去る十月十八日関係者多数を招待盛大に落成式を挙行した。新事務所は菅原建築設計事務所の設計監督によるもので、鉄筋二階建（ボイドスラブ工法）で総建坪五四九・〇二平方㍍と二〇坪の店舗で近代的明るい事務所、二階は会議室、結婚式場として地区内の諸会合にも利用出来るようになっている。同農協は西多摩郡の南部に位し農耕面積は田畑合せて二三〇町歩、酪農、養鶏、果樹類、そ菜、米麦などが生産され、購販事業年間取扱高一億五千万円、共済契約高二億円、預金高四億七千万円の実績をしめし、組合員六百名、役員十九名、職員十九名によって運営され、産業組合として発足以来四十余年堅実な歩みにより今日におよび、都議会議員の中村正氏を組合長に、副組合長竹内正治、常務理事中村中氏、参事岸野正一氏らによって運営されている。（写真は新事務所と組合長中村正氏）



立川　発走　毎日12時
11月　6・7・8・20・21・22　けいりん

多摩川　競艇　開場10時半
新宿・渋谷　東口・西武新宿駅脇から競艇会員用バスあり
12月1～6・15～20

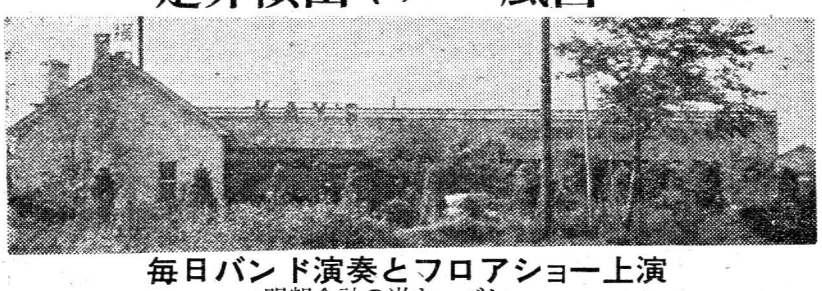
店舗移転
販売・修理・張替
大谷洋傘店
福生町銀座通入口　電話(0425)51～0380
（駅より2分）

いつも皆様の
チャームを研究しております
ナナ美容室
福生町志茂
電話 51～0817

皆様の健康相談所
クスリと化粧品
万世堂薬局
拝島駅前　電話昭島4～1326

百畳敷大広間
結婚式場
割烹　歌川
昭島駅前　電話昭島4～0117

お食事と御入浴は……
是非横田トルコ風呂へ……



毎日バンド演奏とフロアショー上演
明朗会計の当キャバレー
横田トルコ風呂・レストラン
キャバレーケイ　青梅線福生駅東口下車三分　電話51～0623・2538

ハイヤー・タクシーの
御用はいつでも間に合う
大洋交通
福生駅前　電話五一～〇二一五
横田基地前　電話五一～〇三六四
〇七四六

御商談・大小御宴会に
御利用下さい
割烹料亭　千曲
箱根ヶ崎駅前　電話五七～〇二九二
有線　一三～三

建築材とパネル
木材業・足場丸太
沖倉製材所
工場　五日市町伊奈網代入口
電話五日市二三六
（〇四二五）五一～〇一四一

左官工事全般
中村工業所
中村琪雄
福生町志茂電話（〇四二五）五一～五三一八

荷造り・引越と大小型運送

森杉運送店
福生町本町（役場下）電話0425～51～0538

プロパンガス・石油・サンウエーブ厨房器具
配管工事・西武百貨店・LPG代理店
有限会社　カジヤ
拝島映画館前　電話昭島四～一二六七・五一～三三十

ヒフ病薬なら
○頑固なヒフ病ならぜひ
本人が御来店下さい
○養生法・手当法等を詳
しく御相談下さい
町田薬局
福生町銀座通　電話(0425)51～0608
（青梅線牛浜駅徒歩7分）